資料2

H30年度における
湧別川ほか　の減災に関する取組
（フォローアップ）

湧別川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H28年の取組状況	H29年の取組状況	H30年の取組状況	R1年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ハード対策 ■危機管理型ハード対策	① 国管理区間 ・堤防天端の保護（湧別左岸地区、遠軽右岸地区）	R2年度までに実施	網走開建							【天端保護】 遠軽右岸地区	【天端保護】 湧別左岸地区、遠軽右岸地区	－	－
		② 北海道管理区間 ・堤防天端の保護箇所の検討と実施	H28年度から実施	振興局							－	・堤防天端の保護箇所の検討	・堤防天端の保護箇所の検討	・堤防天端の保護箇所の実施 【天端保護】 生田原川（予定：東町、向遠軽）
	■防災活動のためのハードの整備及び有効活用の取組	① 防災拠点施設の強化 ・防災行政無線の整備 及び更新 ・防災拠点施設に おける 自家発電機等の改良検討及び防災拠点代替施設検討	H29年度から実施	湧別町							－	・防災行政無線更新の検討（デジタル化H34.11末まで） ・防災拠点施設における自家発電機等の改良検討	・防災行政無線更新について、各種デジテル無線システムの調査・方式検討事業を実施 ・業務継続計画（BCP）の策定検討を行った。	・防災行政無線デジタル整備実施設計、整備工事 ・屋内戸別受信機設置検討 ・防災拠点施設における自家発電機等の改良検討 ・防災拠点への可搬型発電機整備拡充 ・防災拠点代替施設の指定を含む町の業務継続計画（BCP）の策定
				遠軽町							－	・防災無線の整備に向けた検討 ・防災拠点代替施設検討	・防災無線デジタル化実施設計 ・防災拠点代替施設検討を継続 ・防災拠点施設における自家発電機設置を検討	・防災無線のデジタル化整備実施(令和1～2年度整備) ・防災拠点代替施設は検討を継続 ・防災拠点施設の自家発電機設置予定
	ソフト対策 ■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握	① 想定最大規模の降雨による浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、破堤点別洪水浸水想定区域図（浸水ナビ）の公表	H28年度	網走開建			完				・平成28年6月30日　告示公表済み ・H28年度末までに浸水ナビについて公表	・HPや出前講座等で広報活動を行った ・浸水ナビはH30年3月に公表済み	－	－
			H30年度までに実施	振興局			完				・水位周知河川（生田原川）の浸水想定区域図検討に着手	・平成29年度中に、水位周知河川である生田原川について公表（H29.9.5） ・その他の支川についても簡易的な手法を用いて、計画的に実施	－	－
		② 想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づいた避難所や避難経路の設定	H29年度から実施	湧別町							－	・新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハザードマップ整備、避難所や避難経路の見直の検討	・新たな洪水浸水想定に基づき避難場所や避難経路を見直し、防災計画等に反映した。。 ・住民ワークショップを通じて改訂版の洪水・土砂災害ハザードマップを作成、全戸配布を行った。	・ハザードマップの更新に基づく地域防災計画等の見直し
				遠軽町							－	・新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハザードマップ整備、避難所や避難経路の見直し、防災計画等への反映	・新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハザードマップの作成・配布を実施 ・避難所や避難経路の見直し、防災計画等への反映	・引き続き、新たな洪水浸水想定に基づく避難所や避難経路の見直しを行う ・見直し後、地域防災計画等へ反映させる
		③ 想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づいた、ハザードマップの作成、まるごとまちごとハザードマップ（街の中に想定浸水区域や浸水深・避難所・避難経路等を看板等で示す）の検討（支援含む）	H29年度から実施	網走開建							－	・関係町について支援を実施	・関係町について支援を実施	・必要に応じ、引き続き支援を実施していく
				気象台							－	・必要に応じて支援など行った	・ハザードマップ等の作成の支援要請がなかった	・必要に応じて支援など行う
				振興局							－	・浸水想定区域図など提供	・支援の要請はなかった	・必要に応じ、支援を実施していく （補助事業の紹介等）

湧別川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 / H29 / H30 / H31 R1 / R2 / R3	H28年の取組状況	H29年の取組状況	H30年の取組状況	R1年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握	③ 想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づいた、ハザードマップの作成、まるごとまちごとハザードマップ（街の中に想定浸水区域や浸水深・避難所・避難経路等を看板等で示す）の検討（支援含む）	H29年度から実施	湧別町		・平成25年3月に、浸水範囲、避難場所、避難所を明示したハザードマップを作成し、町民に全戸配布	・最大想定浸水区域公表に伴うハザードマップの見直し、作成に向けた検討 ・まるまちハザードマップ設置検討	・最大想定浸水区域の公表に伴い避難所や避難経路を見直し、改訂版の洪水・土砂ハザードマップを作成、全戸配布を行った。	・まるまちハザードマップ設置検討
				遠軽町		・平成27年9月に、浸水範囲、避難場所、避難所を明示したハザードマップを作成し、町民に全戸配布	・最大想定浸水区域表示に伴うハザードマップの見直し・作成に向けた検討 ・まるまちハザードマップ設置検討	・最大想定浸水区域表示に伴うハザードマップの作成・配布 ・避難所や避難経路の見直し、防災計画等への反映 ・まるまちハザードマップ設置検討	・まるまちハザードマップは、引き続き検討する
			H28年度から実施	広域組合		・消防職・団員を対象とした災害図上訓練を実施し、構成町の災害危険区域、浸水区域、避難所等の把握と、出動時の課題を検討	・発災時の避難誘導活動を想定し、組合構成町のハザードマップを基に、消防職・団員間で浸水区域・避難所・避難経路等の情報共有に努めた	・前年度から継続し、発災時の避難誘導活動を想定した浸水区域・避難所・避難経路等の情報共有に努めた	・遠軽町、湧別町の防災担当部局の協力を得て、避難誘導に従事する消防職・団員が浸水区域・避難所・避難経路等の情報共有が図れるよう、視察研修等を計画し実施する
		④ 円滑な避難行動のため、道路管理者との連絡体制網の構築	H28年度から実施	網走開建		・流域関係機関に冠水する恐れのある道路等のリスト聞き取り調査を実施（2月～3月）	・流域関係機関で共有できる資料の整理及び必要に応じた見直し(関係機関と協力し、防災ハンドブックの作成を行った) ・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図った	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	必要に応じて、関係機関と協力し防災ハンドブックを更新
				振興局		・聞き取り調査に協力	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図った	・道路管理者と連携し、見直しを行った	・道路管理者と連携し、必要に応じ見直しを行っていく
			H29年度から実施	自衛隊		－	・共有を図った	・共有を図った	・共有を図る
				北海道警察		－	・共有を図った	・共有を図った	・共有を図る
			R1年度から実施	遠軽警察署		－	－	－	・共有を図る
			H28年度から実施	湧別町		・聞き取り調査に協力	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図った	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図った	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図る
				遠軽町		・聞き取り調査に協力	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図った	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図った	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を図る
				広域組合		・構成市町（湧別町・遠軽町）と共有を図った	・道路管理者との既存の連絡体制（暴風雪、交通事故、道路トンネル災害、油流出など）の整理と共有	・道路管理者との既存の連絡体制（暴風雪、交通事故、道路トンネル災害、油流出など）の整理と共有	・道路管理者との既存の連絡体制（暴風雪、交通事故、道路トンネル災害、油流出など）の整理と共有
	■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組	① 住民の避難行動を促すため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報提供や洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築	H29年度までに実施	網走開建	完	・スマートフォンによるリアルタイム情報提供を実施	・H29年5月までにプッシュ型情報配信を実施	・プッシュ型情報配信をH30年5月に4水系10市町村に拡大	・プッシュ型配信による情報について、住民がより理解しやすい内容となるように緊急速報メール配信文を更新 ・HPや出前講座等で広報活動を行う

湧別川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H28年の取組状況	H29年の取組状況	H30年の取組状況	R1年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組	② メール・テレビ・ラジオ・サイレン等、多様な手段を用いた避難情報発信体制の強化及び近隣住民同士での連絡体制等の人的ネットワークの構築	H28年度から実施	湧別町							・サポートメール(登録制)による緊急防災情報配信及び利用促進　・自治会連絡網、個別電話連絡及びFAXも含めた様々な情報伝達手段の活用	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図った ・自治会で自主防災組織の先例地（石狩市）調査を10月に実施 ・自治会や自主防災組織に対する研修会を2月に実施	・既存防災スピーカーとJアラートを連携した情報伝達方法の運用を図った。 ・自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図った	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図る ・自治会や自主防災組織に対する研修会、出前講座を継続して実施予定 ・防災行政無線デジタル化実施設計・整備工事 ・屋内戸別受信機設置検討 ・避難行動要支援者避難支援プランに基づく個別避難計画作成の普及促進
				遠軽町							・サポートメール(登録制)による緊急防災情報配信及び利用促進 ・エリアメールの活用 ・複数の手段を有機的に組み合わせた情報伝達の方法検討	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図った ・要配慮者に対する情報伝達手段の検討 ・遠軽町総合防災訓練でエリアメールの配信訓練を実施	・引き続き自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図った ・要配慮者に対する情報伝達手段の検討	・引き続き、自主防災組織の結成促進やメール配信サービスの利用促進(登録制)を図る ・引き続き、要配慮者に対する情報伝達手段の検討 ・遠軽町総合防災訓練でエリアメールの配信訓練を実施
				広域組合							・構成町の避難所開設情報等の収集と防災担当との連絡体制の確認 ・避難情報、警報を消防職・団員へ伝達するため、順次指令システムを活用した情報伝達の活用	・引き続き実施	・引き続き実施	・引き続き実施
		③ わかりやすく、切迫感の伝わりやすい情報となるよう、洪水予報文の改良、気象情報発信時の「危険度色分け」・「警報級の現象」やメッシュ情報等の改善	H28年度	網走開建		完					・洪水予報伝文の改良済み ・「避難勧告等の判断・伝承マニュアル作成ガイドライン」（平成27年8月）を平成29年1月に改定	－	－	・「避難勧告等に関するガイドライン」改定に伴い、より住民が理解しやすい情報となるよう洪水予報文を改良
			H29年度までに実施	気象台			完				・洪水予報文の改良済み ・新たなステージに対応した防災気象情報の改善について、H29出水期前の運用開始に向け作業中	・H29出水期前に新たなステージに対応した防災気象情報の改善の運用開始	－	・「避難勧告等に関するガイドライン」改定に伴い、より住民が理解しやすい情報となるよう洪水予報文を改良
		④ 避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての町職員向けマニュアルの作成や地域防災計画の見直し	H29年度から実施	湧別町							・避難勧告等の判断・伝達マニュアル（水害編）作成	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル（水害編）の検証・見直しを行った ・避難行動要支援者避難支援プラン（全体計画）の策定	・避難勧告等の判断・伝達マニュアルの見直しを行った。 ・避難行動要支援者避難支援プランに基づく名簿を作成 ・町職員暴風雨災害図上訓練の実施	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編)を見直し、必要に応じて、検証・見直しを実施 ・避難行動要支援者避難支援プランに基づく名簿の更新、個別避難計画作成の普及促進 ・町職員災害図上訓練の実施
				遠軽町							・避難勧告等の判断・伝達マニュアル（水害編）作成	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル（水害編）の検証・見直し	・避難勧告等の判断・伝達マニュアル（水害編）の検証・見直し ・地域防災計画の見直しを実施	・引き続き、避難勧告等の判断・伝達マニュアル（水害編）の検証・見直しを実施する ・地域防災計画の見直しを継続
		⑤ 訓練を通じ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインを改良や多機関が連携したタイムラインの作成（要配慮者も考慮）	H29年度から実施	網走開建							－	・H29に出水期前にタイムラインに関する意見交換会を開催し精度向上を図った ・遠軽町主催の災害対策本部図上訓練に参加し、関係機関との情報共有を図った	・各町がタイムラインを作成する際の参考となるように、他河川で実施しているタイムライン検討会の傍聴を幅広に案内した	・活用可能な構成町の訓練に参加し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
				気象台							－	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
				振興局							－	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加 ・水位周知河川について、構成町と協議し、タイムラインを作成し試行運用を開始 ・他河川タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加する ・水位周知河川について、構成町と訓練を実施し、タイムライン本運用に向けて協議を実施予定。また、必要に応じ、タイムラインの見直しを行っていく

湧別川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H28年の取組状況	H29年の取組状況	H30年の取組状況	R1年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組	⑤ 訓練を通じ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインを改良や多機関が連携したタイムラインの作成	H29年度から実施	自衛隊		■	■	■	■	■	―	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
						―	―	―	―	―				
				北海道警察		■	■	■	■	■	―	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会に参加	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
			R1年度から実施	遠軽警察署				■	■	■	―	―	―	・意見交換会に参加する
								―	―	―				
			H29年度から実施	湧別町		■	■	■	■	■	―	・意見交換会に参加 ・遠軽町主催の災害対策本部図上訓練に参加し、関係機関との情報共有を図った	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
						―	―	―	―	―				
				遠軽町		■	■	■	■	■	―	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴 ・災害対策本部図上訓練は災害対応のため中止	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく
						―	―	―	―	―				
				広域組合		■	■	■	■	■	―	・意見交換会に参加	・意見交換会に参加 ・他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴	・意見交換会に参加する ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを行っていく ・他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴 ・災害対策本部図上訓練に参加
						―	―	―	―	―				
				北海道電力		■	■	■	■	■	・社内における緊急パトロール訓練の実施（H28.10.12）	・意見交換会に参加	・意見交換会（協議会・幹事会）に参加した ・遠軽町主催の訓練に参加予定も訓練中止 ・他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴	・意見交換会（協議会・幹事会）に参加予定 ・構成市町と訓練を実施し、必要に応じ、タイムライン見直しを支援予定 ・他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴予定 ・遠軽町主催の訓練に参加
					―	―	―	―	―	―				
	■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発	① 住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、湧別川流域ほか、水害特性を踏まえた広報活動を実施する	H29年度から実施	網走開建		■	■	■	■	■	・H28出水についてHPで広報	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加 ・学校現場での防災教育を支援するため、副読本を作成 ・他機関が実施する訓練を見学することにより、各自の訓練にフィードバックできるよう、網走開建管内の国管理区間の全機関が予定している訓練予定について情報共有・提供した	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加 ・他機関が実施する訓練を見学することにより、各自の訓練にフィードバックできるよう、網走開建管内の国管理区間の全機関が予定している訓練予定について情報共有・提供 ・北見工業大学　地域と歩む防災研究センターと連携協定を結び、地域の防災力向上を図る
					―	―	―	―	―	―				
				気象台		■	■	■	■	■	―	・関係機関主催の訓練等に参加また、講習会や防災学習等に参画	・関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画 ・中湧別小学校1日防災教室に参画	・関係機関主催の訓練等に参画また、講習会や防災学習等に参画
					―	―	―	―	―	―				
				振興局		■	■	■	■	■	―	・関係機関主催の訓練等に参加また、講習会や防災学習等に参加	・関係機関の他河川の講習会や防災学習等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練等に参加また、講習会や防災学習等に参加予定
					―	―	―	―	―	―				
				自衛隊		■	■	■	■	■	―	・関係機関主催の訓練等に参加また、講習会や防災学習等に参加	・遠軽災害対策本部図上訓練は中止のため未参加 ・関係機関主催の訓練等、講習会や防災学習等に関する情報共有を図った。	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加する
					―	―	―	―	―	―				

湧別川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H28年の取組状況	H29年の取組状況	H30年の取組状況	R1年以降の取組内容
迅速かつ確実な避難行動のための取組	ソフト対策 ■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発	① 住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、湧別川流域ほか、水害特性を踏まえた広報活動を実施する	H29年度から実施	北海道警察							－	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加した	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加した	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加する
			R1年度から実施	遠軽警察署							－	－	－	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加する
			H29年度から実施	湧別町							・出前講座、講習会や防災学習等を実施 ・広報紙H28.10月号に水災害に関する特集記事を掲載 ・地域住民、自治会による「北海道地域防災マスター」の認定取得促進	・関係機関主催の訓練等に参加 ・出前講座、講習会や防災学習等を実施 ・啓発記事を広報誌や町HPへ掲載 ・北海道地域防災マスター認定研修会へ参加（2名認定）	・関係機関主催の訓練等に参画 ・出前講座、講習会や防災学習等を実施 ・啓発記事を広報誌や町HPへ掲載 ・「北海道地域防災マスター」認定研修会の実施 ・中湧別小学校1日防災教室の実施	・関係機関主催の訓練等に参画 ・出前講座、講習会や防災学習等を実施 ・啓発記事を広報誌や町HPへ掲載 ・地域住民、自治会による「北海道地域防災マスター」の認定取得促進 ・中湧別小学校1日防災教室の実施
				遠軽町							・災害対策本部図上訓練	・災害対策本部図上訓練の実施 ・遠軽町総合防災訓練の実施 ・関係機関主催の訓練等に参画 ・学校での防災教育や住民への出前講座の実施	・災害対策本部図上訓練は災害対応のため中止 ・関係機関主催の訓練等に参加 ・学校での防災教育や住民への出前講座の実施	・災害対策本部図上訓練の実施 ・遠軽町総合防災訓練の実施 ・関係機関主催の訓練等に参加 ・学校での防災教育や住民への出前講座の実施
				広域組合							－	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加	・子供と保護者を対象とした湧別町の合同避難訓練に参加し、避難時の搬送法や応急手当についての教育に努めた	・関係機関主催の訓練等に参加また、講習会や防災学習等に参加
				北海道電力							－	・関係機関主催の訓練等に参加、また、講習会や防災学習等に参加	・関係機関主催の訓練等および講習会や防災学習会に参加意向も、機会無	・必要に応じ、関係機関主催の訓練等に参加予定　また、講習会や防災学習等に参加予定
		② 要配慮者利用施設に係る避難確保計画の作成	H29年度から実施	振興局							－	・要配慮者施設情報の基礎資料整理	・要配慮者施設情報の基礎資料提供	・必要に応じ、引き続き支援を実施していく予定
			H30年度から実施	湧別町							－	・浸水域に立地する町保育所に係る避難確保計画を作成（2箇所）	・要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成時の助言	・要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成時の助言 ・避難訓練実施時の助言
				遠軽町							－	－	・要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成時の助言 ・要配慮者利用施設が作成する消防計画書の項目「自然災害」（風水害、土砂災害）中での作成を検討	・要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成時の助言 ・要配慮者利用施設が作成する消防計画書の項目「自然災害」（風水害、土砂災害）中での作成を検討
				広域組合							－	－	・避難確保計画を消防計画に盛り込む場合の参考資料として、実際に消防法に基づき作成された消防計画書を構成町の防災担当部局へ提供した	・避難確保計画を消防計画に盛り込む場合の参考資料として、実際に消防法に基づき作成された消防計画書を構成町の防災担当部局へ提供する ・要配慮者利用施設の消防計画の作成状況について、構成町との情報共有
		③ 要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施	R1年度から実施	湧別町							－	－	－	・避難訓練の企画・立案・実施について協力・支援
				遠軽町							－	－	－	・要配慮者利用施設に係る避難確保計画に基づく避難訓練実施時の助言
				広域組合							－	－	－	・避難確保計画に基づく避難訓練への協力 ・火災に関する避難訓練との連携

湧別川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 / H29 / H30 / H31 R1 / R2 / R3	H28年の取組状況	H29年の取組状況	H30年の取組状況	R1年以降の取組内容
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ハード対策 ■洪水氾濫を未然に防ぐ対策	① 国管理区間 ・浸透対策 （野上左岸地区、中湧別地区）	R2年度までに実施	網走開建		【浸透対策】 中湧別地区	【浸透対策】 野上左岸地区	－	【浸透対策】 遠軽左岸
		② 北海道管理区間 ・河川整備:河道掘削、堤防整備 （生田原川、サナブチ川） ・水防拠点の設置検討 （生田原川） ・適切な河道の維持管理 （河道掘削、 伐木等）	H28年度から実施	振興局		【河道掘削】 ・生田原川、サナブチ川 【堤防整備】 ・生田原川 【河道の維持】 ・道管理河川において、伐木等を実施	【河道掘削】 ・生田原川、サナブチ川 【堤防整備】 ・生田原川 【河道の維持】 ・道管理河川において、伐木等を実施	【河道掘削】 ・サナブチ川 【堤防整備】 ・中ノ沢川 【河道の維持】 道管理河川において、伐木等を実施（生田原川、湧別川、中土場川）	【河道掘削】 ・生田原川、サナブチ川 【堤防整備】 ・中ノ沢川、生田原川 【河道の維持】 ・道管理河川において、伐木等を実施予定
	■監視体制の強化	① 湧別川のほか中小河川など、水害リスクの高い箇所の状況が把握できるよう、現地観測杭・CCTVカメラの設置等、観測機器の調査検討及び監視体制の強化を図る	H28年度から実施	網走開建		・水害リスクの高い箇所の状況が把握できるよう、現地観測杭を設置。また水害リスクの高い箇所に水位計を設置（KP2.2右岸、KP22.8左岸） ・水位計設置箇所の検討と簡易水位計の購入	・水害リスクの高い箇所に水位計を設置 ・簡易水位計の資料収集（視察） ・危機管理システムの勉強会を実施	・水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計を設置	・水害リスクの高い箇所に監視カメラを設置予定 ・必要に応じて、水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計や監視カメラを設置
			H29年度から実施	振興局		－	・水害リスクの高い箇所点検や監視体制の検討を行った ・簡易水位計の整備検討を実施	・水害リスクの高い箇所に、危機管理型水位計設置を行った N=5基設置 （湧別川、中土場川、ｳﾗｼﾏﾅｲ川、生田原川、武利川）	・水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計及び監視カメラを設置予定 ・中土場川において普通水位計設置の検討を行う
	■水防活動の資機材整備	① 水防資機材の備蓄基地等の配置や、資機材量の検討と新技術を活用した資機材の検討・配備	H28年度から実施	網走開建		・現況の水防備蓄量の確認を実施 ・新技術の資材等調べ ・水防拠点や備蓄基地の配置の検討を実施	・水防拠点や備蓄基地について必要性の検討及び配置の検討を行った	・水防拠点や備蓄基地について必要性の検討及び配置の検討を行った	・水防拠点や備蓄基地について必要性の検討及び配置の検討を行う
			H29年度から実施	振興局		－	・遠軽町と水防資機材の備蓄基地に使用できる土地の賃借等について、調整を行った	・対象箇所の再検討が必要となった ・生田原川で水防拠点を計画中	・備蓄基地の用地について、生田原川河川敷地内で再検討を行う予定 ・保有ブロック数、ヤード規模の検討を行う予定
			H28年度から実施	自衛隊		・防災装備品を計画的に整備	・引き続き、計画的に整備	・引き続き、計画的に整備	・引き続き、計画的に整備予定
				湧別町		・小型発電機5基、投光機5基を購入、町内3箇所の備蓄庫に配備	・備蓄資材保管庫及び各避難所への備蓄を実施	・備蓄資材保管庫及び各避難所への備蓄資機材量の検討を行った。 ・出水状況及び被災状況等の把握のため、UAV（ドローン）の導入と職員の操作訓練を実施 ・排水用水中ポンプ3基（8インチ11kw）の配備	・備蓄資材保管庫及び各避難所への水防資機材、備蓄資材量の検討 ・昨年度に引き続き排水用水中ポンプ3基(8インチ11kw)の配備
			H29年度から実施	遠軽町		・本所、各総合支所に水防拠点として水防資材を備蓄している	・水防資機材量の検討	・水防資機材量の検討	・引き続き、水防資機材量の検討を行う
				広域組合		－	・構成町で整備した水防資機材に関し、実動部隊となる消防職・団員への情報共有を図った	・構成町で整備した水防資機材に関し、実動部隊となる消防職・団員への情報共有を図った	・構成町で整備した水防資機材に関し、実動部隊となる消防職・団員への情報共有を図る

湧別川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H28年の取組状況	H29年の取組状況	H30年の取組状況	R1年以降の取組内容
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策 ■水防活動に必要な情報の共有	① 迅速な水防活動を支援するため、水防資機材等の保有状況の情報を共有しておくとともに、定期的な資材の状態点検を行う	H28年度から実施	網走開建							・保有状況確認と状態点検を実施 ・関係機関に対して保有箇所・状況の聞き取り調査を実施（2月～3月）	・出水来前までに関係機関の保有状況をとりまとめ整理し、情報共有を行う（関係機関と協力し、防災ハンドブックの作成を行った） ・今後、必要に応じて見直しを行っていく	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・必要に応じて、関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新
				振興局							・聞き取り調査に協力	・保有状況の情報共有を行った ・資機材補充の検討	・関係機関と連携し、見直しを検討	・関係機関と連携し、必要に応じ見直しを行っていく
				自衛隊							・聞き取り調査に協力	・共有を図った	・共有を図った	・共有を図る
				湧別町							・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
				遠軽町							・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
				広域組合							・聞き取り調査に協力	・共有を図った ・引き続き、資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施	・一級河川水防連絡協議会地方部会が実施する合同巡視に参加し、野上資材ヤードの水防資機材を確認 ・資機材の備蓄状況の情報を消防職員間で共有した	・共有を図る ・引き続き、資機材等の保有状況の確認と情報共有及び点検を実施
		② 毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施するとともに、土地勘や経験の乏しい人員にも分かりやすい巡視マップの作成及び定期的な情報共有を行う	引き続き実施	網走開建							・巡視マップの作成を実施 ・関係機関と一体となって共同点検を実施 ・重要水防箇所の見直しを実施	・巡視マップを更新すると共に関係機関へ情報共有を図った ・関係機関と共同点検を実施 ・重要水防箇所の見直しを実施	・巡視マップを更新すると共に関係機関へ情報共有を図った ・関係機関とのほか住民等を交えた共同点検を実施 ・重要水防箇所の見直しを実施	・巡視マップを更新すると共に関係機関へ情報共有を図る ・関係機関とのほか住民等を交えた共同点検を実施予定 ・引き続き、重要水防箇所の見直しを行う
			H29年度から実施	振興局							－	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検に参加	・国管理河川の共同点検に参加 ・道管理河川の共同点検に向けた実施方針について検討	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検に参加予定 ・道管理河川の共同点検の実施予定
				自衛隊							－	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検の情報共有を図った。	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検に参画
			引き続き実施	湧別町							・関係機関と一体となって共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施 ・独自の危険箇所マップを作成し、パトロール強化を図った	・関係機関のほか関係自治会を交えた共同点検を実施 ・過去の出水箇所マップを見直し、パトロール強化を図った	・関係機関と共同点検を実施予定 ・過去の出水箇所マップを見直し、パトロール強化を図る ・出水期前の道区間の共同点検に参加予定

湧別川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績） H28 / H29 / H30 / H31 R1 / R2 / R3	H28年の取組状況	H29年の取組状況	H30年の取組状況	R1年以降の取組内容
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策 ■水防活動に必要な情報の共有	② 毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施するとともに、土地勘や経験の乏しい人員にも分かりやすい巡視マップの作成及び定期的な情報共有を行う	引き続き実施	遠軽町		・関係機関と一体となって共同点検を実施 ・その他の河川については、出水期前及び出水時には土木担当課を中心に適宜実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関と共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定 ・出水期前の道区間の共同点検に参加予定
				広域組合		・関係機関と一体となって共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施	・消防職員が河川合同巡視に参加	・消防職・団員を含めた重要水防箇所の巡視を実施予定
			H29年度から実施	北海道電力		－	・必要により関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検への参加意向も、機会無	・必要に応じ、関係機関のほか住民等を交えた共同点検へ参加予定
	■水防活動体制の強化	① 関係機関が連携した、高速な洪水流による河岸侵食をシナリオに組み込んだ、水防訓練の実施	H29年度から実施	網走開建		－	・実動訓練のためのシナリオ作成の基礎資料として、河岸侵食対応事例の収集を実施した	・引き続き、河岸侵食対応事例の収集を実施した	・引き続き河岸侵食対応事例を踏まえた訓練シナリオの検討を行う予定 ・R1年以降に、関係機関と一体となった実動訓練の実施を行う
				気象台		－	・各自治体等主催の訓練等に参画	・水防実働訓練に参加する機会がなかった	・各自治体等主催の訓練等に参画
				振興局		－	・各自治体等主催の訓練等に参加	・各自治体等主催の訓練等に参加	・引き続き関係機関主催の訓練などに参画予定
				自衛隊		－	・各自治体等主催の訓練等に参加	・各自治体等主催の訓練等の情報共有を図った。	・各自治体等主催の訓練等に参画
				北海道警察		－	・各自治体等主催の訓練等に参加	・各自治体等主催の訓練等に参加	・各自治体等主催の訓練等に参加
			R1年度から実施	遠軽警察署		－	－	－	・各種水防実働訓練等に参加する
			H29年度から実施	湧別町		－	・町も協力している自治会主体の訓練に反映 ・町内建設業協会との災害時協力体制に関する協定締結	・町職員及び消防職員による水害図上訓練の実施	・町も協力している自治会主体の訓練に反映 ・町内建設業協会との災害時協力体制を必要に応じて見直しを行う
				遠軽町		－	・町も協力している自治会主体の訓練に反映	・町も協力している自治会主体の訓練に反映	・町も協力している自治会主体の訓練に反映
				広域組合		－	・各自治体（水防管理団体）等主催の訓練等に参加	・遠軽町災害対策図上訓練に参加予定であったが、大雨により中止	・各自治体（水防管理団体）等主催の訓練等に参加

湧別川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H28年の取組状況	H29年の取組状況	H30年の取組状況	R1年以降の取組内容
迅速かつ確実な水防活動のための取組	ソフト対策	■水防活動体制の強化	② 水防活動の担い手となる水防団員（消防団員）の募集（リーフレットやHPを通じた広報活動）や水防協力団体の募集・指定の促進	H28年度から実施	網走開建							・リーフレットやHPを通じ、水防活動の担い手となる水防団員（消防団員）の募集を行う ・減災協議会で水防協力団体の説明を実施	・引き続き継続実施	・引き続き継続実施	・引き続き継続実施
					振興局							・ポスター掲示やリーフレット配布を通じ水防活動の担い手となる水防団員の募集を行った	・引き続き継続実施	・継続実施した	・引き続き継続実施
					湧別町							・遠軽地区広域組合消防本部と協力し、水防団員（消防団員）募集に係る広報、ポスター掲示やパンフレット配布を実施	・水防団員（消防団員）募集に係る広報、ポスター掲示やパンフレット配布 ・町新入職員の積極的な入団促進	・水防団員（消防団員）募集に係る広報、ポスター掲示やパンフレット配布 ・町新入職員の積極的な入団促進	・水防団員（消防団員）募集に係る広報、ポスター掲示やパンフレット配布 ・町新入職員の積極的な入団促進
					遠軽町							・ポスターの掲示等、広域組合の募集活動に協力	・引き続き水防（消防）団員や水防協力団体の募集及び指定促進を継続実施	・引き続き水防（消防）団員や水防協力団体の募集及び指定促進を継続実施	・引き続き水防（消防）団員や水防協力団体の募集及び指定促進を継続実施
					広域組合							・消防団員として入団した者に対する教育、訓練の機会に、水防事務についての教養を図った	・引き続き継続実施	・平成30年4月1日から平成31年3月31日までの異動状況 遠軽町消防団　現在267名（期間中8名入団、7名退団、1名の増加） 湧別町消防団　現在197名（期間中17名入団、4名退団、13名の増加）	・引き続き継続実施
効率的・効果的な排水活動のための取組	ハード対策	■排水活動の資機材整備	① 排水ポンプ車等、排水活動に必要な資機材の整備検討	H28年度から実施	網走開建							・関係機関に対して保有箇所・状況の聞き取り調査を実施（2月～3月）	・流域関係機関で共有できる資料の整理を行う予定（関係機関と協力し、防災ハンドブックの作成を行った） ・必要な資機材の配備検討を行った ・今後、必要に応じて見直しを行っていく	・関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新	・必要に応じて、関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新
					自衛隊							－	・共有を図った	・共有を図った	・共有を図る
					湧別町							・聞き取り調査に協力	・共有を図った ・必要な資機材の配備検討を行った	・共有を図った ・必要な資機材の配備検討を行った ・排水用水中ポンプ3基（8インチ11kw）整備	・共有を図る ・必要な資機材の配備検討を行う ・昨年度に引き続き排水用水中ポンプ3基(8インチ11kW)整備
					遠軽町							・聞き取り調査に協力 ・排水ポンプ車購入（H24年度購入） ・照明車購入（H28.6.23購入）	・共有を図った	・共有を図った	・共有を図る ・必要な資機材の配備検討を行う
					広域組合							・聞き取り調査に協力	・共有を図った	・共有を図った	・共有を図る

湧別川ほか 減災に関する取組方針　フォローアップ

資料2-1

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール（上段：計画、下段：実績）H28	H29	H30	H31 R1	R2	R3	H28年の取組状況	H29年の取組状況	H30年の取組状況	R1年以降の取組内容
効率的・効果的な排水活動のための取組	ハード対策 ■排水活動の資機材整備	② 排水活動を行うスペースの整備検討	H28年度から実施	網走開建							－	・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討	・排水方法の検討を行うと共に、必要に応じた施設の検討	・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討
				振興局							－	－	・道管理河川において浸水範囲（実績等）を基に、氾濫常襲地帯等を調査したが、対策が必要なまでの箇所は無かった	・必要に応じ、降雨実績による再検討を行う
	ソフト対策 ■排水活動の体制強化	① 既設排水系統を関係機関と共有し、資機材搬入経路と想定排水箇所の設定や排水機場の操作要領見直し検討を行い、排水ポンプ車等を活用した排水計画の作成	H29年度から実施	網走開建							・流域関係機関が保有する排水資機材の聞き取り調査を実施	・水害時における浸水の影響を軽減し社会経済活動の早期再開に資するべく、効率的かつ効果的な排水計画策定のための検討を実施し、策定した	・排水計画策定のための検討を実施し、策定した	・排水計画策定のための検討を実施し、策定する
				振興局							・聞き取り調査に協力	・網走開発建設部と連携し整理を図った	・関係機関と連携し整理を図った	・関係機関と連携し整理を図る
				湧別町							・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
				遠軽町							・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
				広域組合							・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図った	・資料整理への協力と共有を図る
		② 排水ポンプ車等を使用した、関係機関共同での排水訓練の実施	引き続き実施	網走開建							・引き続き計画的に継続実施 H28:北見地区、美幌地区、湧別地区で実施（10回開催）	・引き続き計画的に継続実施 今後は流域関係機関へも声かけを実施	・計画的に継続実施 ・幅広に関係機関への声かけを実施	・計画的に継続実施 ・幅広に関係機関への声かけを実施
			H29年度から実施	振興局							－	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加
				湧別町							－	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加
				遠軽町							－	・ポンプ排水訓練に参加 ・遠軽町総合防災訓練において、町保有のポンプ車設置訓練を実施	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加 ・遠軽町総合防災訓練において、町保有のポンプ車を使用した訓練を検討
			引き続き実施	広域組合							・当組合所有資機材の取り扱い訓練を定期的に実施	・ポンプ排水訓練に参加	・ポンプ排水訓練に参加した	・ポンプ排水訓練に参加

資料2-2

H30年度における
湧別川ほか 減災に関する取組状況
（フォローアップ）

フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

①ハード対策
■危機管理型ハード対策

課題対応：A

①国管理区間 【令和2年度までに実施：網走開建】
・堤防天端の保護（湧別左岸地区、遠軽右岸地区）
②北海道管理区間 【平成28年度から実施：振興局】
・堤防天端の保護箇所の検討と実施

①【令和2年度までに実施：網走開建】

堤防天端の保護

※写真：平成29年度施工

②【平成28年度から実施：振興局】

堤防天端の保護箇所の検討

生田原川（東町、向遠軽）にて計画

フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

①ハード対策

課題対応：a

■防災活動のためのハードの整備及び有効活用の取組

①防災拠点施設の強化
- ・防災行政無線の整備及び更新
- ・防災拠点施設における自家発電機等の改良検討及び防災拠点代替施設検討
  【平成29年度から実施：湧別町,遠軽町】

①【平成29年度から実施：湧別町,遠軽町】

【湧別町】
- ・防災行政無線更新（デジタル化H34.11末まで）に向けて、H30年度は各種デジテル無線システムの調査・方式検討事業を実施
  - 令和元年度：実施設計・屋内戸別受信機設置検討
  - 令和2年度以降：整備工事
- ・令和元年度は、防災拠点施設における自家発電機等の改良検討を行い、防災拠点へ可搬型発電機の整備を拡充し、以降も引き続き検討を行う
- ・防災拠点代替施設の指定を含む町の業務継続計画（BCP）策定の検討を実施

【遠軽町】
- ・防災無線のデジタル化整備に向けた実施設計を行った（令和元～2年度に整備）
- ・防災拠点施設における自家発電機の設置を検討した（令和元年度に設置予定）
- ・防災拠点代替施設の検討を継続

フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

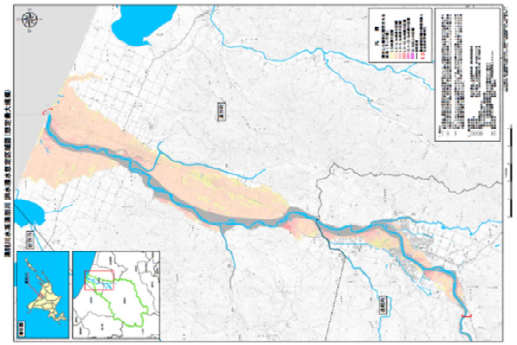
②ソフト対策
■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握

課題対応：B，b，C

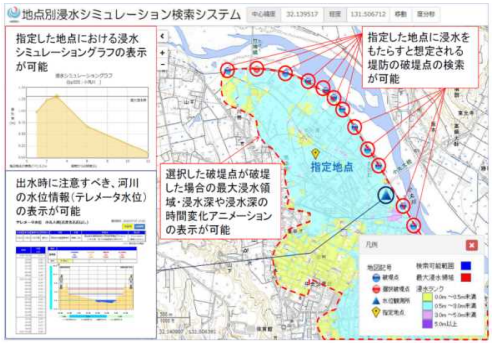
①想定最大規模の降雨による浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域、破堤点別洪水浸水想定区域図（浸水ナビ）の公表
【平成28年度：網走開建】【平成30年度までに実施：振興局】
②想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づいた避難所や避難経路の設定
【平成29年度から実施：湧別町,遠軽町】

①【平成28年度：網走開建】【平成30年度までに実施：振興局】

【網走開建】
平成28年6月30日　告示公表済み

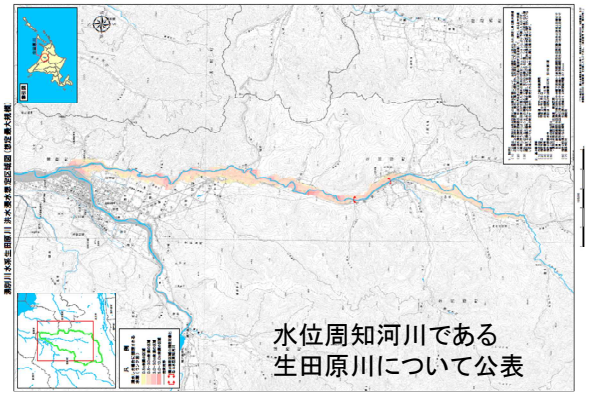


■網走開発建設部　浸水想定区域図より
網走開発建設部ホームページ
http://www.ab.hkd.mlit.go.jp/



浸水ナビの整備（H30年3月末公開）

【振興局】
平成29年9月5日　告示公表済み



水位周知河川である
生田原川について公表

■網走建設管理部　浸水想定区域図より
網走建設管理部ホームページ
http://www.Okhotsk.pref.Hokkaido.lg.jp/

iRICによる洪水氾濫危険域図を作成

②【平成29年度から実施：湧別町,遠軽町】

【湧別町】
・新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハザードマップ整備、避難所や避難経路の見直し、防災計画等への反映
・H30年度に住民ワークショップを通じて洪水ハザードマップを作成し、全戸配布
・ハザードマップ見直し結果を踏まえて、R1年度以降に地域防災計画等へ反映させる予定

住民ワークショップ
洪水ハザードマップ作成

【遠軽町】
・新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハザードマップ作成・配布を実施
・避難所や避難経路の見直し、防災計画等への反映
・引き続き、新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハザードマップ、避難所や避難経路の見直しを行った
・見直し後、地域防災計画等へ反映させた

フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

②ソフト対策
■洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握

課題対応：B，b，C

③想定最大規模の降雨による浸水想定区域に基づいた、ハザードマップの作成、まるごとまちごとハザードマップ（街の中に想定浸水区域や浸水深・避難所・避難経路等を看板等で示す）の検討（支援含む）
【平成28年度から実施：広域組合】【平成29年度から実施：網走開建,気象台,振興局,湧別町,遠軽町】
④円滑な避難行動のため、道路管理者との連絡体制網の構築
【平成28年度から実施：網走開建,振興局,湧別町,遠軽町,広域組合】【平成29年度から実施：自衛隊,北海道警察】

③【平成28年度から実施：広域組合】【平成29年度から実施：網走開建,気象台，振興局，湧別町,遠軽町】

【網走開建】
関係町について支援を実施

【気象台】
ハザードマップ等の作成の支援要請がなかった

【振興局】
支援の要請はなかった

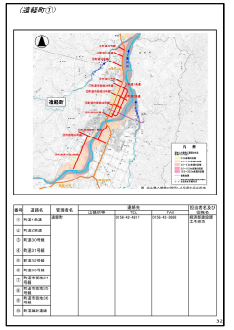
【湧別町】
最大想定洪水区域の公表に伴い避難所や避難経路を見直し、改訂版の洪水・土砂災害ハザードマップを作成し、全戸配布を行った

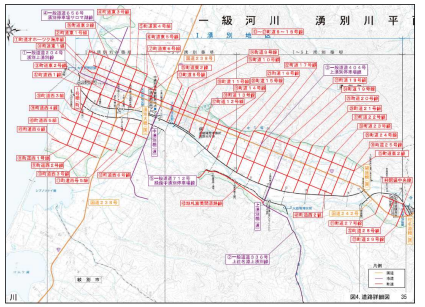
【遠軽町】
・最大想定浸水区域表示に伴うハザードマップの作成・配布
・避難所や避難経路の見直し、防災計画等への反映

【広域組合】
前年度から継続し、発災時の避難誘導活動を想定した浸水区域・避難所・避難経路等の情報共有に努めた

④【平成28年度から実施：網走開建,振興局,湧別町,遠軽町,広域組合】【平成29年度から実施：自衛隊,北海道警察】

【網走開建】
関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新





【振興局】
道路管理者と連携し、見直しを行った

【湧別町,遠軽町】
道路管理者と連携し、資料整理と共有を図った

【自衛隊,北海道警察】
共有を図った

【広域組合】
道路管理者との既存の連絡体制（暴風雪、交通事故、道路トンネル災害、油流出など）の整理と共有

フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

課題対応：D

②ソフト対策
■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

①住民の避難行動を促すため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報提供や洪水予報等をプッシュ型で情報発信するためのシステム構築
【平成29年度までに実施：網走開建】

①【平成29年度までに実施：網走開建】

H29年5月からプッシュ型情報配信を2水系5市町に実施し、
H30年5月に4水系10市町に拡大　※プレスリリース抜粋

緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

～平成３０年５月１日から、配信対象エリアを４水系１０市町村に拡大します～

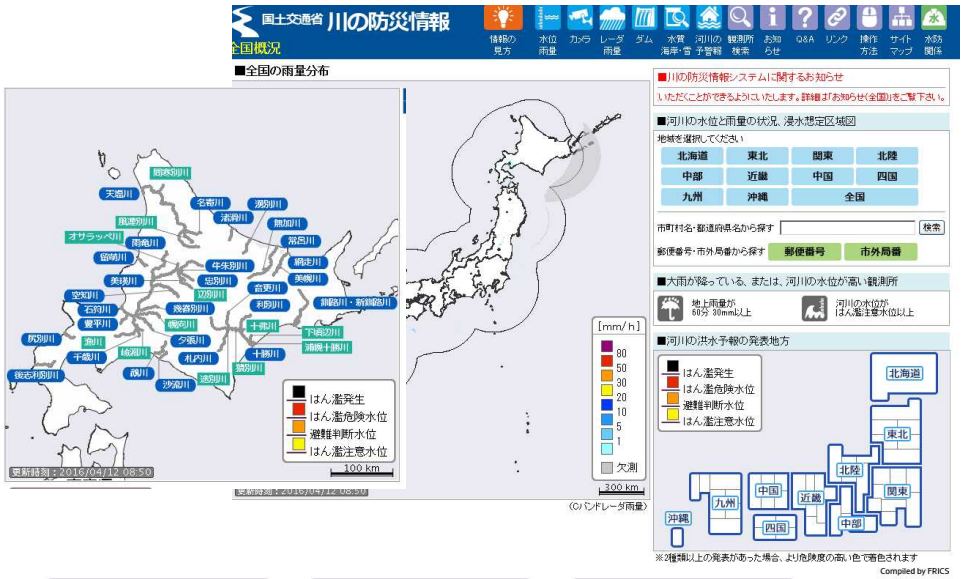
国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成２８年９月から緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信に取り組んでいます。
北海道開発局網走開発建設部では、昨年５月１日から２水系の沿川５市町村において実施しておりますが、このたび、平成３０年５月１日から配信対象エリアを拡大し、２水系５市町村において配信することとしましたので、お知らせいたします。

※ 洪水情報とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報（レベル4）及び氾濫発生情報（レベル5）の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。

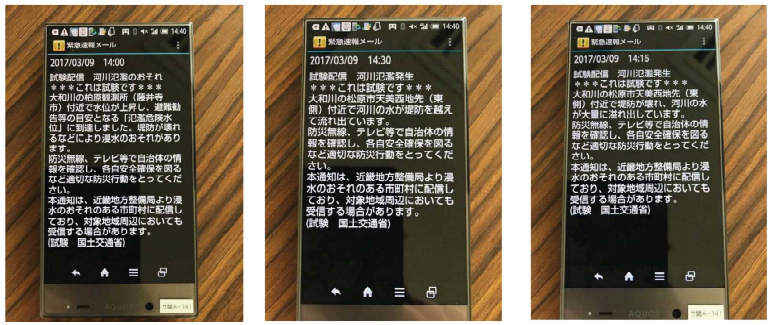
洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※今回のメール配信は、国土交通省が発信元となり、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。
携帯電話事業者ごとの基地局や通信システムの関係により、配信対象となる市町村よりも広範囲のエリアに緊急速報メールが送信されることがあります。

H29年5月常呂川水系（北見市、訓子府町、置戸町）
　　湧別川水系（湧別町、遠軽町） 2水系5市町に実施
H30年5月網走川水系（網走市、大空町、美幌町、津別町）
　　渚滑川水系（紋別市） 4水系10市町に拡大



①河川氾濫のおそれ	②－ｉ　河川氾濫発生（河川の水が堤防を越えて流れ出ている時）	②－ｉｉ　河川氾濫発生（堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出している時）



フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

課題対応：D，E

②ソフト対策
■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

②メール・テレビ・ラジオ・サイレン等、多様な手段を用いた避難情報発信体制の強化及び近隣住民同士での連絡体制等の人的ネットワークの構築
【平成28年度から実施：湧別町,遠軽町,広域組合】
③わかりやすく、切迫感の伝わりやすい情報となるよう、洪水予報文の改良、気象情報発信時の「危険度色分け」・「警報級の現象」やメッシュ情報等の改善
【平成28年度：網走開建】【平成29年度までに実施：気象台】

②【平成28年度から実施：湧別町,遠軽町,広域組合】

【湧別町】

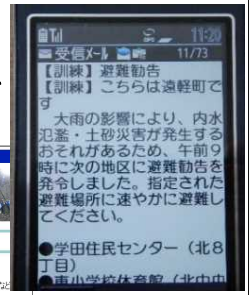
・既設防災スピーカー（町内21箇所）とJアラートを連携した情報伝達方法の運用
・R元年度は屋内戸別受信機の整備を検討

メール配信サービスの利用促進（登録制）を図った

【遠軽町】

・自主防災組織結成促進やメール配信サービスの利用 促進（登録制）を図った
・要配慮者に対する情報伝達手段の検討

令和元年度遠軽町総合防災訓練時にエリアメール配信訓練を実施予定



自主防災組織結成促進

【広域組合】
引き続き実施

③【平成28年度：網走開建】【平成29年度までに実施：気象台】

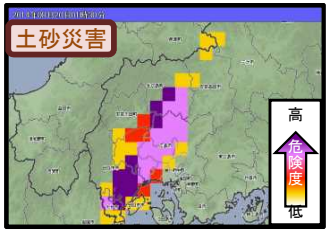
【網走開建】
洪水予報伝文の改良済み

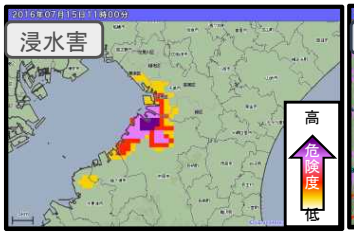
【網走地方気象台】
・平成29年5月17日提供開始
〇気象警報・注意報
「危険度を色分けした時系列」
〇5日先までの「警報級の可能性」
・平成29年7月4日提供開始
〇メッシュ情報の充実
従来の「土砂災害」に加え「浸水害」と「洪水害」の危険度分布

平成ｘｘ年ｘｘ月ｘ日 ｘｘ時ｘｘ分 ｘｘ地方気象台発表
ｘｘ市
【発表】暴風，波浪警報　大雨，雷，濃霧注意報
【継続】高潮注意報

ｘｘ市		今後の推移（■警報級 □注意報級）								
発表中の警報・注意報等の種別		7日	8日							
		21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24
大雨	1時間最大雨量（ミリ）	10	10	30	30	50	50	50	30	
	（浸水害）									
暴風	風向風速（矢印・メートル） 陸上	15	18	20	22	22	25	18	15	15
	海上	20	22	25	28	28	30	22	20	20
波浪	波高（メートル）	5	5	8	8	8	9	8	7	7
高潮	潮位（メートル）	0.7	0.7	0.8	1.0	1.8	2.0	1.8	1.2	1.2

北海道北見地方	警報級の可能性							
種別	29日			30日		31日	1日	2日	3日
	夕方まで	夜～明け方		朝～夜遅く					
	12-18	18-6		6-24					
大雨	－	－	－	[高]		[高]	[中]	－	－
大雪	－	－	－	－		－	－	－	－
暴風（暴風雪）	－	－	－	[高]		[高]	[中]	[中]	－





フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

課題対応：F

②ソフト対策

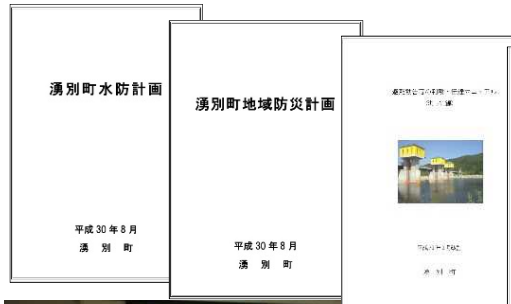
■避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

④避難勧告等の発令を判断するための情報や、住民への情報伝達方法及び伝達内容についての町職員向けマニュアルの作成や地域防災計画の見直し
【平成29年度から実施：湧別町,遠軽町】

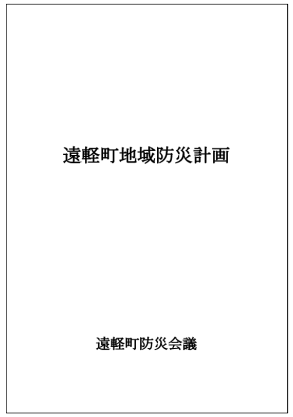
⑤訓練を通じ、避難勧告等の発令に着目したタイムラインを改良や多機関が連携したタイムラインの作成
【平成29年度から実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合,北海道電力】

④【平成29年度から実施：湧別町,遠軽町】

【湧別町】
- 地域防災計画、避難勧告等の判断・伝達マニュアル等の見直し
- 避難行動要支援者避難支援プラン（全体計画）の策定及び名簿の作成
- 町職員暴風雨災害図上訓練の実施



湧別町職員暴風雨災害図上訓練



【遠軽町】
- 避難勧告等の判断・伝達マニュアル（水害編）の検証・見直し
- 地域防災計画等の見直しを実施（今後も見直し継続）

⑤【平成29年度から実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合,北海道電力】

【網走開建】
各市町がタイムラインを作成する際の参考となるように、他河川で実施しているタイムライン検討会の傍聴を幅広に案内した

【気象台,振興局, 北海道警察】
他河川タイムライン検討会に参加

【自衛隊,湧別町,遠軽町,広域組合,北海道電力】
他河川タイムライン検討会を参考のため傍聴

第１回検討会(H30.12.27)

第２回検討会(H31.2.22)

【振興局】
意見交換を実施し、避難勧告着目型タイムラインの作成を行った

フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

②ソフト対策
■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

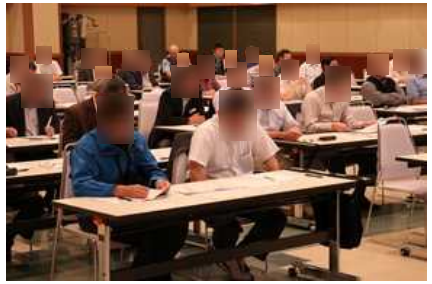
課題対応：G

①住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、湧別川流域のほか、水害特性を踏まえた広報活動を実施する
【平成29年度から実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合,北海道電力】

①【平成29年度から実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合,北海道電力】

【湧別町】
・小学校1日防災教室の実施
・自治会防災出前講座の実施
・洪水ハザードマップ作成ワークショップの実施

洪水ハザードマップ作成ワークショップ



※写真：湧別町HP転載

【気象台】
中湧別小学校1日防災教育に参画

【遠軽町】
・学校での防災教育や、住民への出前講座の実施
・令和元年度遠軽町総合防災訓練において住民が参加した水災害避難訓練の実施予定
・災害対策本部図上訓練は災害対応のため中止

【北海道警察,気象台】
警察職員の防災意識の醸成

【自衛隊】
引き続き関係機関の訓練等に参加また、講習会や防災学習等に参加

【北海道電力】
関係機関主催の訓練等および　講習会や防災学習会等に参加　意向も、機会無

【振興局】
他河川主催水防技術講習会に参加（H30.07.31）

【網走開建】
学校現場での防災教育を支援するため、副読本を作成

フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

②ソフト対策
■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

課題対応：G

①住民が参加した水災害避難訓練、水防災に関する講習会・ワークショップ、小中学生への防災教育、湧別川流域のほか、水害特性を踏まえた広報活動を実施する
【平成29年度から実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合,北海道電力】

①【平成29年度から実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合,北海道電力】

【湧別町,広域組合,気象台,網走開建】
子供と保護者を対象とした湧別町の合同避難訓練に参加し、避難時の搬送法や応急手当についての教育に努めた

地元幼稚園・高校による合同避難訓練

幼稚園から高校（指定緊急避難場所）へ避難

高校から小学校（避難所）へ避難

高校から小学校（避難所）へ避難完了

気象台職員からの講話

消防職員による展示

網走開発建設部からの展示資料

フォローアップ（H30年度）取組状況　～1）迅速かつ確実な避難行動のための取組～

②ソフト対策
■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

課題対応：c，d

②要配慮者利用施設に係る避難確保計画の作成
【平成29年度から実施：振興局】
【平成30年度から実施：湧別町,遠軽町,広域組合】
③要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく避難訓練の実施
【令和元年度から実施：湧別町,遠軽町,広域組合】

②【平成29年度から実施：振興局】
【平成30年度から実施：湧別川ほか減災対策協議会　浸水域に含まれる要配慮者利用施設　遠軽町市街地】

【振興局】
・要配慮者施設情報の基礎資料提供

【湧別町】
・要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成時の助言

【遠軽町】
・要配慮者利用施設に係る避難確保計画作成時の助言
・要配慮者利用施設が作成する消防計画書の項目「自然災害」（風水害、土砂災害）中での作成を検討

【広域組合】
避難確保計画を消防計画に盛り込む場合の参考資料として、実際に消防法に基づき作成された消防計画書を構成町の防災担当部局へ提供

③【令和元年度から実施：湧別町,遠軽町】

【湧別町】
要配慮者利用施設に係る避難確保計画に基づく避難訓練の企画・立案・実施について協力・支援

【遠軽町】
要配慮者利用施設に係る避難確保計画に基づく避難訓練実施時の助言

【広域組合】
・避難確保計画に基づく避難訓練への協力
・火災に関する避難訓練との連携

フォローアップ（H30年度）取組状況　～2）迅速かつ確実な水防活動のための取組～

①ハード対策
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策

課題対応：H

①国管理区間　【令和2年度までに実施：網走開建】
- ・浸透対策（野上左岸地区、中湧別地区）

②北海道管理区間　【平成28年度から実施：振興局】
- ・河川整備:河道掘削、堤防整備（生田原川、サナブチ川）
- ・水防拠点の設置検討（生田原川）
- ・適切な河道の維持管理（河道掘削、伐木等）

①【令和2年度までに実施：網走開建】

浸透対策

※写真：平成29年度施工

②【平成28年度から実施：振興局】

河道掘削

フォローアップ（H30年度）取組状況　～2）迅速かつ確実な水防活動のための取組～

①ハード対策
■監視体制の強化

課題対応：Ⅰ

①湧別川のほか中小河川など、水害リスクの高い箇所の状況が把握できるよう、現地観測杭・CCTVカメラの設置等、観測機器の調査検討及び監視体制の強化を図る【平成28年度から実施：網走開建】【平成29年度から実施：振興局】

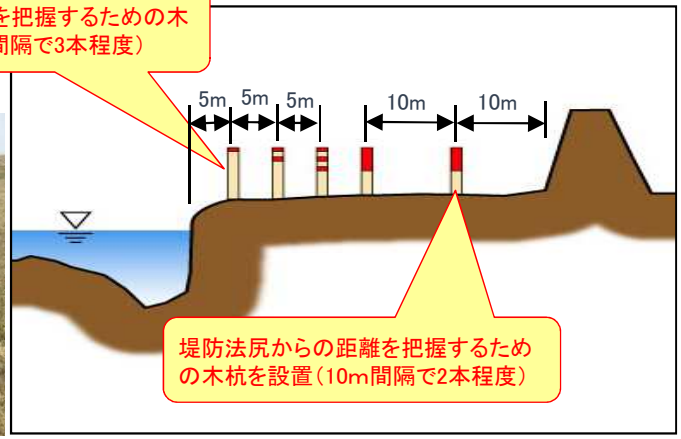
①【平成28年度から実施：網走開建】【平成29年度から実施：振興局】

【網走開建】
水害リスクの高い箇所に危機管理型水位計を設置

【振興局】
危機管理型水位計の設置

UAV機器による高度監視

●UAV（無人航空機）等の新技術を活用し上空からの侵食状況や上下流の澪筋などの把握を実施し、管理体制の強化を図る。



フォローアップ（H30年度）取組状況　～2）迅速かつ確実な水防活動のための取組～

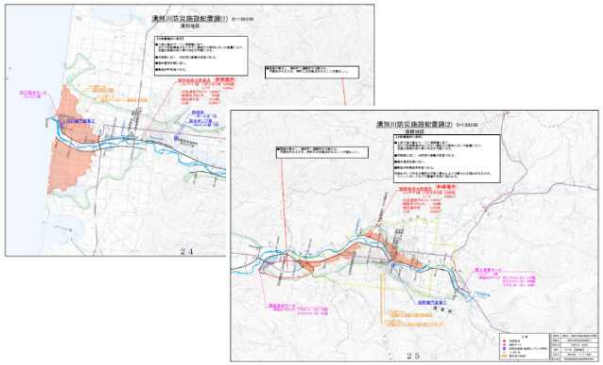
①ハード対策
■水防活動の資機材整備

課題対応：J

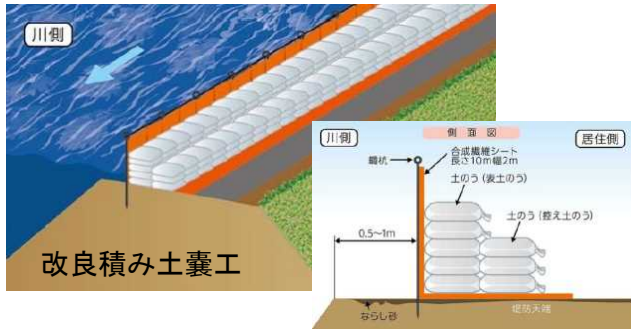
①水防資機材の備蓄基地等の配置や、資機材量の検討と新技術を活用した資機材の検討・配備
【平成28年度から実施：網走開建,自衛隊,湧別町】【平成29年度から実施：振興局,遠軽町,広域組合】

①【平成28年度から実施：網走開建,自衛隊,湧別町】【平成29年度から実施：振興局,遠軽町,広域組合】

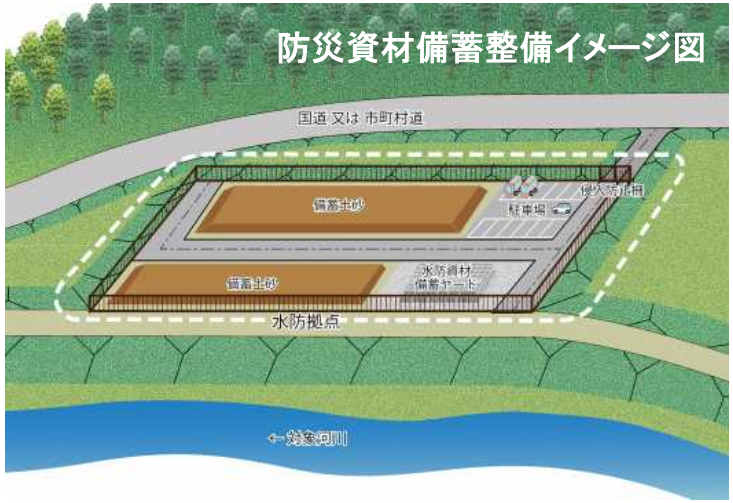
【網走開建】
水防拠点や備蓄基地について必要性の検討及び配置の検討を行った



新技術を活用した資機材の配備



【振興局】
生田原川で水防拠点計画中



【自衛隊】
救命ボート（6人乗りゴム製、船外機無し）の整備

【湧別町】
備蓄資材保管庫及び各避難所への備蓄資機材量の検討を継続して行った

【遠軽町】
水防資機材量の検討を実施

【広域組合】
構成町で整備した水防資機材に関し、実動部隊となる消防職・団員への情報共有を図った

フォローアップ（H30年度）取組状況　～2）迅速かつ確実な水防活動のための取組～

②ソフト対策
■水防活動に必要な情報の共有

課題対応：K，L

①迅速な水防活動を支援するため、水防資機材等の保有状況の情報を共有しておくとともに、定期的な資材の状態点検を行う【平成28年度から実施：網走開建,振興局,自衛隊,湧別町,遠軽町,広域組合】
②毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施するとともに、土地勘や経験の乏しい人員にも分かりやすい巡視マップの作成及び定期的な情報共有を行う
【引き続き実施：網走開建，湧別町,遠軽町,広域組合】【平成29年度から実施：振興局,自衛隊,北海道電力】

①【平成28年度から実施：網走開建,振興局,自衛隊,湧別町,遠軽町,広域組合】

【網走開建】
関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新

【振興局】
関係機関と連携し、見直しを検討

【自衛隊】
共有を図った

【湧別町,遠軽町】
資料整理への協力と共有を図った

【広域組合】
資機材の備蓄状況の情報を消防職員間で共有した

②【引き続き実施：網走開建，湧別町,遠軽町,広域組合】【平成29年度から実施：振興局,自衛隊,北海道電力】

【網走開建，湧別町,遠軽町,広域組合】
関係機関と共同点検を実施

上空から危険箇所に関する合同調査
H30.06.11 実施

土地勘がなく経験の少ない人員にも分かりやすい資料を作成し、関係機関に対して、定期的に情報共有する

【北海道電力】
共同点検への参加意向も、機会無

【振興局】
・国管理河川の共同点検に参加
・道管理河川の共同点検に向けた実施方針について検討予定

【自衛隊】
関係機関のほか住民等を交えた共同点検の情報共有を図った

フォローアップ（H30年度）取組状況　～2）迅速かつ確実な水防活動のための取組～

②ソフト対策
■水防活動体制の強化

課題対応：L，M

①関係機関が連携した、高速な洪水流による河岸侵食をシナリオに組み込んだ、水防訓練の実施
【平成29年度から実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合】
②水防活動の担い手となる水防団員（消防団員）の募集（リーフレットやHPを通じた広報活動）や水防協力団体の募集・指定の促進【平成28年度から実施：網走開建,振興局,湧別町,遠軽町,広域組合】

①【平成29年度から実施：網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合】

水防工法実施訓練

災害対策本部図上訓練

樋門操作訓練の実施

水災害を想定した訓練

関係機関が連携した
水防訓練を継続実施

※写真：平成29年度実施

水難救助訓練

【遠軽町】
令和元年遠軽町総合防災訓練で実施予定

【網走開建,気象台,振興局,自衛隊,北海道警察,湧別町,遠軽町,広域組合】
関係機関主催の訓練などに参画

②【平成28年度から実施：網走開建,振興局,湧別町,遠軽町,広域組合】

【網走開建】
リーフレットやHPを通じ、水防活動の担い手となる水防団員（消防団員）の募集を行う

【振興局】
ポスター掲示やリーフレット配布を通じ、水防活動の担い手となる水防団員（消防団員）の募集を行った

【湧別町】
水防団員（消防団員）募集に係る広報、ポスター掲示やパンフレット配布

【遠軽町】
引き続き水防（消防）団員や水防協力団体の募集及び指定促進を継続実施

【広域組合】
・不特定多数の人が出入りする場所に、消防団員募集ポスター掲示の協力依頼
・消防団幹部を中心とした募集活動、事業所への声掛け

フォローアップ（H30年度）取組状況　～3）効率的・効果的な排水活動のための取組～

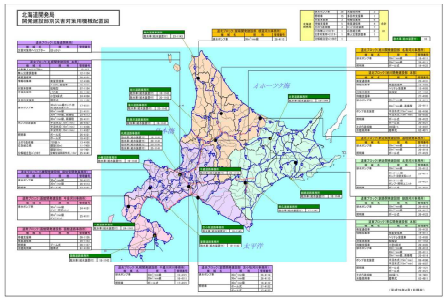
①ハード対策
■排水活動の資機材整備

課題対応：N

①排水ポンプ車等、排水活動に必要な資機材の整備検討
【平成28年度から実施：網走開建,自衛隊,湧別町,遠軽町,広域組合】
②排水活動を行うスペースの整備検討
【平成28年度から実施：網走開建,振興局】

①【平成28年度から実施：網走開建,自衛隊,湧別町,遠軽町,広域組合】

【網走開建】
関係機関と協力し、防災ハンドブックを更新



【自衛隊,遠軽町,広域組合】
資料整理への協力と共有を図った

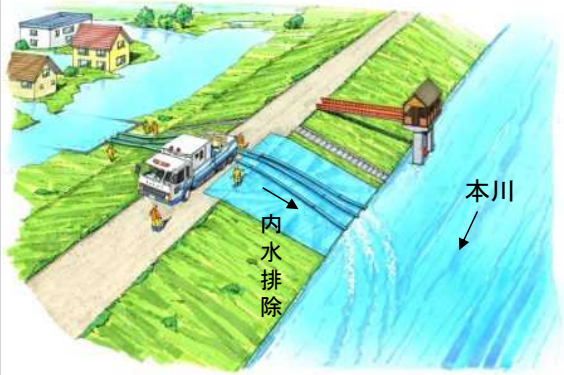
【湧別町】
排水用水中ポンプ3基（8インチ11kw）整備

排水活動に必要な資機材の整備検討

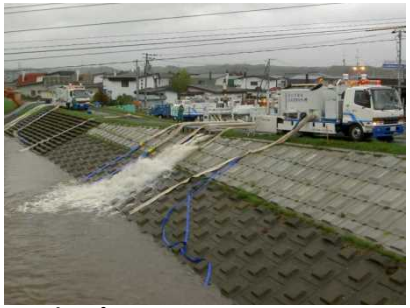
②【平成28年度から実施：網走開建,振興局】

【網走開建】
排水方法の検討を行うと共に、必要に応じた施設の検討

排水活動を行うスペースの整備検討



内水排水のイメージ図



ポンプ車による内水排除の状況

【振興局】
道管理河川において浸水範囲（実績等）を基に、氾濫常襲地帯等を調査したが、対策が必要なまでの箇所は無かった

釜場の整備検討

フォローアップ（H30年度）取組状況　～3）効率的・効果的な排水活動のための取組～

②ソフト対策
■排水活動の体制強化

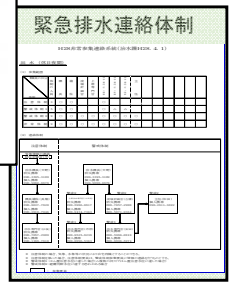
課題対応：O，P

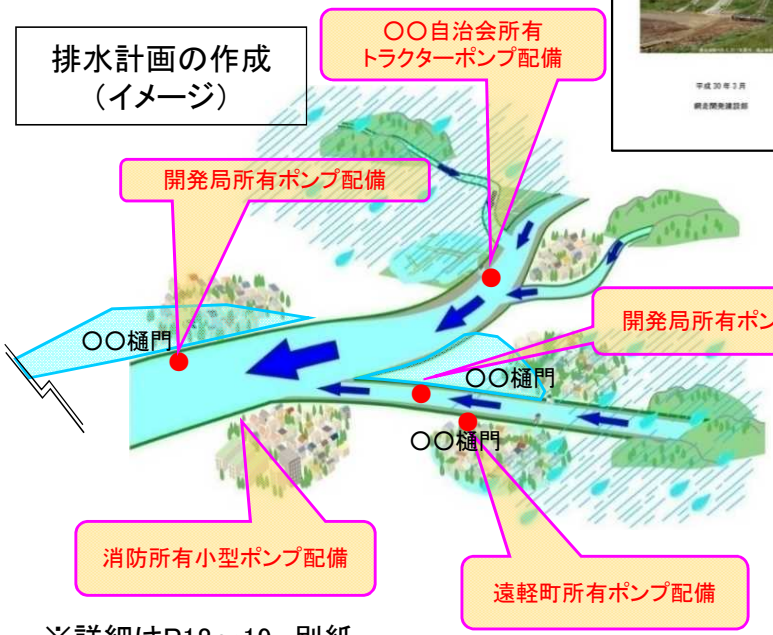
①既設排水系統を関係機関と共有し、資機材搬入経路と想定排水箇所の設定を行い、排水ポンプ車等を活用した排水計画の作成
【平成29年度から実施：網走開建,振興局,湧別町,遠軽町,広域組合】
②排水ポンプ車等による排水訓練の実施
【引き続き実施：網走開建,広域組合】【平成29年度から実施：振興局,湧別町,遠軽町】

①【平成29年度から実施：網走開建,振興局,湧別町,遠軽町,広域組合】

【網走開建】
排水計画策定のための検討を実施し、策定した

【振興局,湧別町,遠軽町,広域組合】
資料整理への協力と共有を図った





排水ポンプ格納場所

○○消防	○町○番地 0158--○･･･
○○事務所	○市○○○ 011-○････

※詳細はP18～19　別紙

②【引き続き実施：網走開建,広域組合】【平成29年度から実施：振興局,湧別町,遠軽町】

【網走開建】
計画的に継続実施。幅広に関係機関への声かけを実施

【振興局,湧別町,遠軽町,広域組合】
ポンプ排水訓練に参加

排水訓練の実施

②ソフト対策
■排水作業準備計画書の作成

課題対応：○

①想定し得る最大規模の降雨により、湧別川流域で想定される浸水区域、水深、浸水継続時間、被害額等を算出し、効率的、効果的な排水作業準備計画を立案する。今年度は、遠軽町の市街地が位置するブロック(L0405)ブロックを対象に検討
【平成30年度から実施：網走開建】

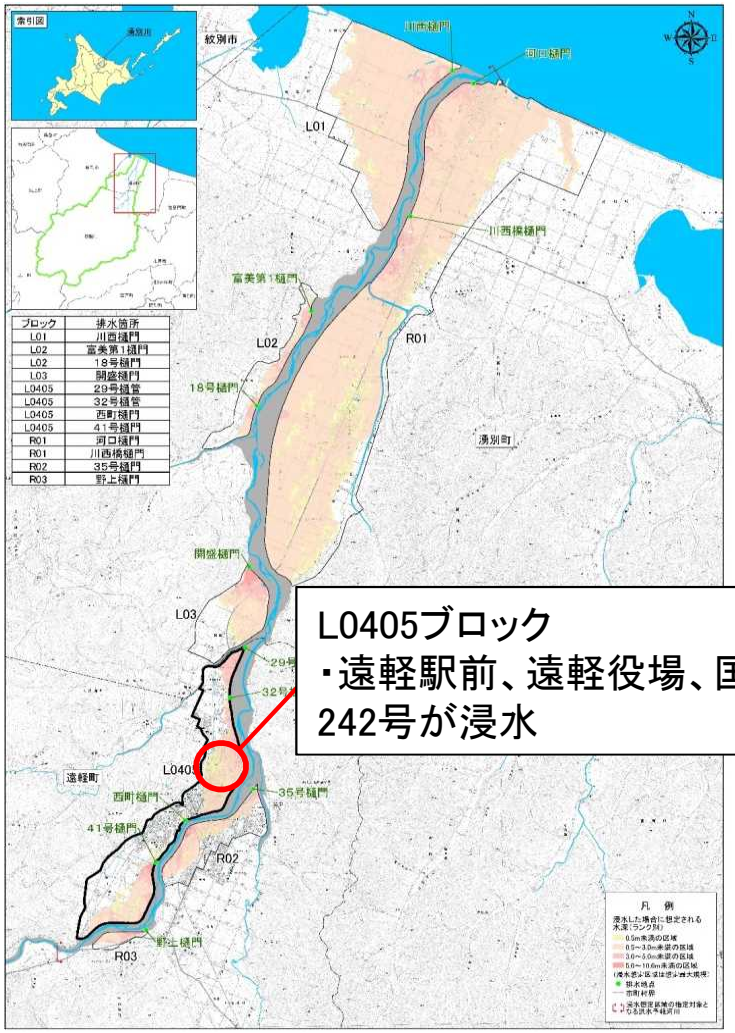
排水作業準備計画の策定フロー

・大規模氾濫減災協議会の取組方針に基づき、令和2年度までに、長期にわたり浸水が継続する地域などにおいて、排水作業準備計画を作成する。
・排水作業準備計画は、協議会等の場を通じて関係者間で共有する。

1．資料収集・整理
↓
2．氾濫特性等の把握
↓
3．排水ポンプ車等の配置検討
4．関係機関との連絡体制・協定等の検討

災害対策機械の概要（排水ポンプ車）

想定される最大規模の氾濫区域と被害額



L0405ブロック
・遠軽駅前、遠軽役場、国道242号が浸水

フォローアップ（H30年度）取組状況　～3）効率的・効果的な排水活動のための取組～

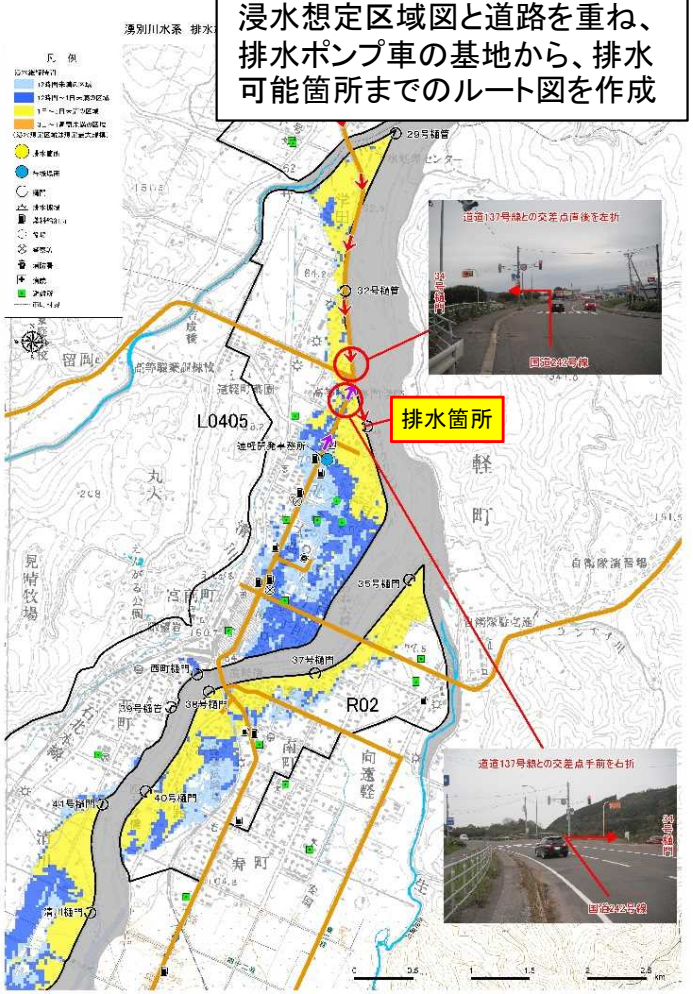
②ソフト対策
■排水作業準備計画書の作成

課題対応：○

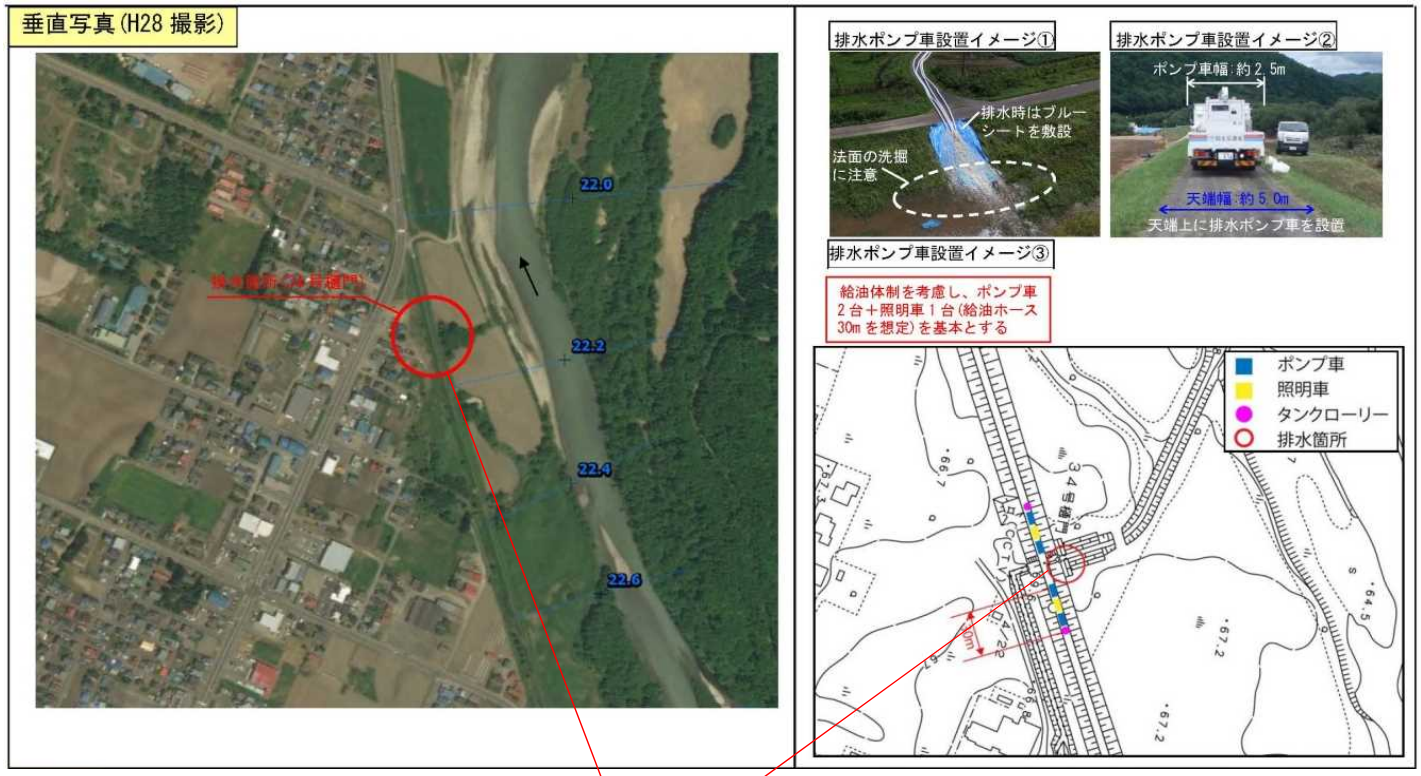
・排水ポンプ車の規格や氾濫水の集水ルート・場所などを踏まえた、排水可能箇所を検討
・排水可能箇所での排水ポンプ車の配置、排水ポンプ車の基地からのルート図などを作成
【平成30年度から実施：網走開建】

排水可能箇所までのルート図

浸水想定区域図と道路を重ね、排水ポンプ車の基地から、排水可能箇所までのルート図を作成



排水可能箇所における排水ポンプ車の配置計画



排水ポンプ車の配置可能スペース、ポンプ設置箇所(樋門、釜場等)の確認

資料2-3

湧別川ほか 減災に関する取組方針に基づく これまでの取組状況について

【網走開建、振興局】北海道における災害時等の相互協力に関する細目協定の締結

◆網走開建とオホーツク総合振興局において、災害時の相互協力に関する連携強化のため、細目協定を締結しました。
◆災害が発生し、又はおそれのある場合の北海道開発局、北海道及び札幌市の相互協力を円滑に行うことを目的として平成28年12月に北海道開発局、北海道及び札幌市により「北海道における災害時等の相互協力に関する協定」が締結されたことを期に、より一層の連携強化を図るため、各部局間において細目協定が締結されました。

相互協力に関する細目協定の締結について

・網走開発建設部及びオホーツク総合振興局は、網走管内における細目協定を平成29年3月7日に締結しました。

協定 調印の様子　平成29年3月7日

北海道開発局、北海道、札幌市の
協定調印の様子　平成28年12月9日
（北海道開発局HPより）

【相互協力に関する細目協定の目的と内容】
◆目的：各機関の相互協力、連携強化により、災害発生又はおそれのある場合に、被害の拡大防止及び二次災害防止並びに被害施設の早期復旧等に資することを目的としています。

◆協定の内容
被害状況の把握、応急復旧等の実施に係わる建設資機材の貸与や職員の派遣に関する協力を行うとともに、平常時から緊急時の連絡体制及び保有する建設資機材に関する情報交換、災害時の要請が輻輳した場合の調整

◆細目協定締結について
災害対応時の具体の必要事項（管轄区域や協力要請の手続き等）を定めました。

※「北海道における災害時等の相互協力に関する協定」
平成28年12月9日、北海道開発局、北海道及び札幌市により締結された協定を主軸に、全道の開発建設部及び振興局において、具体の細目協定を締結し、より一層の連携強化を図っています。

【網走開建、気象台、振興局】要配慮者利用施設への説明会について

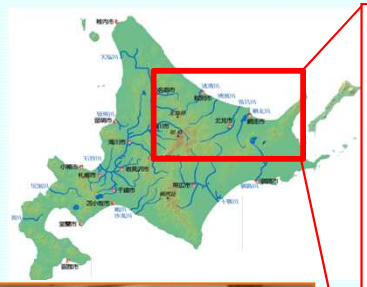
◆ 昨年の一連の台風などの豪雨災害を踏まえ、国土交通省、厚生労働省及び各自治体が連携し、要配慮者利用施設管理者に向けた河川情報等への理解を深めていただくための説明会が全国で開催され、このたび、**網走管内においても開催されました。**

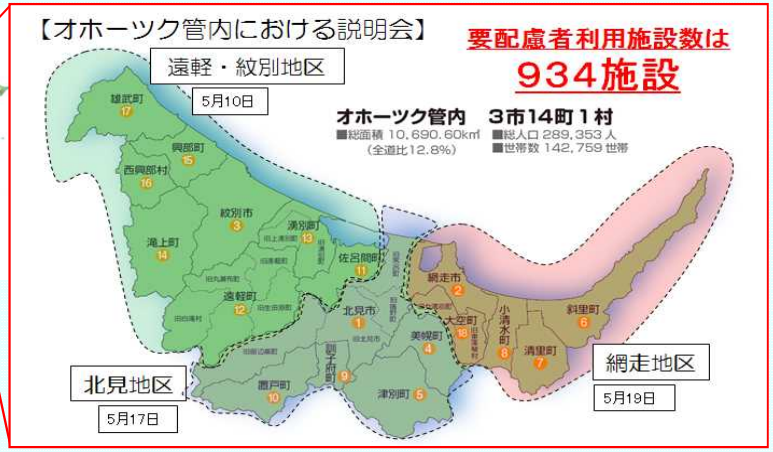
◆**要配慮者など災害弱者の避難を、地域社会全体で連携支援し、確実な避難の実現のため、**洪水や土砂災害リスクの高い区域に存する**要配慮者利用施設については、避難確保計画作成及び避難訓練の実施が義務化**されています。

要配慮者利用施設への説明会開催状況

・網走管内における説明会を、
網走地区、北見地区、遠軽・紋別地区の３地区で開催。

【開催状況】
平成29年5月10日　遠軽・紋別地区
（紋別市民会館）
平成29年5月17日　北見地区
（北見芸術文化ホール）
平成29年5月19日　網走地区
（網走オホーツク文化交流センター）





【説明会の開催背景】

◆平成27年9月関東・東北豪雨や平成28年8月台風10号等では、逃げ遅れによる多数の死者や甚大な経済損失が発生
◆「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を実現するため、同様の被害を二度と繰り返さない『抜本的な対策』が急務

【以上の背景を踏まえ、国土交通省、厚生労働省、各自治体が連携して、施設管理者に対して水害・土砂災害時における適切な避難行動についての理解を深めていただくことを目的とした説明会を全国で開催】

【湧別川】洪水氾濫を未然に防ぐ対策・避難時間の確保に資するハード対策の実施

◆ 湧別川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね５年で実施する取組」に基づき、洪水氾濫を未然に防ぐ対策として、浸透対策を実施。

◆ また、洪水による越水破堤時における避難時間を少しでも長く確保するため、堤防天端保護工を実施。

◆ 次年度以降も継続的に実施。

ハード対策の実施状況

浸透対策（野上左岸地区）

堤防天端の保護（野上右岸地区）

堤防天端の保護（湧別左岸地区）

◆湧別川・渚滑川では関係機関が連携し、大規模な氾濫の発生に備え減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。

（参考）網走開建HP：https://www.ab.hkd.mlit.go.jp/kasen/gennsai/index.html

【湧別川水系生田原川、中土場川ほか】洪水氾濫を未然に防ぐ対策（振興局）

◆ 湧別川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね５年で実施する取組」に基づき、洪水氾濫を未然に防ぐ対策として、河道掘削（堆積土）、堤防整備及び伐木等を実施。

◆ 次年度以降も継続的に実施。

ハード対策の様子

◆河道内の伐木と、
河道の掘削を
を行いました。

河道内の堆積土除去
（生田原川～生田原市街地）

河道内の伐木
（生田原川～生田原市街地）

【湧別川】避難情報や警報の発信体制強化（湧別町、遠軽町防災メール利用促進）

◆ 湧別川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね５年で実施する取組」に基づき、避難情報や警報等の発信体制強化として、湧別町ではサポートメール、遠軽町ではえんがる防災情報メールとエリアメールを運用しており、随時、利用促進を図っています。

◆ 次年度以降も継続的に利用促進を図り情報発信体制の強化を行っていきます。

取組の概要（サポートメール＠防災ゆうべつ）

・登録制のサポートメールによって緊急防災情報を配信しています。
・利用促進のため、町広報誌への特集記事掲載や、避難勧告等の、判断伝達マニュアルへ情報の利用について記載しています。

【配信される内容】

①緊急防災情報
- ・津波警報・大雨警報・水防警報・暴風雪警報など気象庁が発表する気象情報
- ・災害発生時の避難所情報
- ・暴風雪時の通行止め情報

②国民保護情報
- ・他国からの武力攻撃、ミサイル発射など、国民保護の観点から配信される緊急情報

③交通安全・防犯
- ・交通安全運動・防犯活動など、住民に参加協力を求める自治情報

※避難勧告等の判断・伝達マニュアル（水害編）に避難勧告の伝達方法のひとつとして明記
※広報紙に水災害に関する特集記事を掲載し、サポートメール利用促進について取り上げ
※サポートメール＠防災ゆうべつの運用は、平成27年度から実施

（防災情報メール、エリアメール）遠軽町

※エリアメールは平成24年11月から実施

【湧別川】災害対策本部図上訓練（遠軽町主催）

◆ 湧別川において大規模な洪水による災害が発生した想定で、各機関の態勢や活動内容を共有する目的で災害対策本部の図上訓練を実施。

図上訓練

日　時：
平成２９年７月４日（火）
１３時３０分～１６時００分

場　所：
遠軽町福祉センター
２階大ホール

参加機関：
- 遠軽町
- 湧別町
- 陸上自衛隊第２５普通科連隊
- 北海道オホーツク総合振興局
- 網走建設管理部遠軽出張所
- 北海道警察北見方面遠軽警察署
- 遠軽地区広域組合消防本部・消防署
- 北海道電力（株）遠軽営業所
- 網走開発建設部遠軽開発事務所

佐々木遠軽町長挨拶

訓練状況

訓練状況

訓練状況

◆湧別川では関係機関が連携し、大規模な氾濫の発生に備え減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。
（参考）網走開建HP：https://www.ab.hkd.mlit.go.jp/kasen/gennsai/index.html

【湧別川】夜間における氾濫水の排水を行うための資機材の整備（遠軽町）

◆湧別川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね５年で実施する取組」において、夜間における氾濫水の排水作業効率化に資する照明車の購入により、排水能力の向上を図るとともに　資機材の整備などによって総合的な災害対応力の向上を図っています。

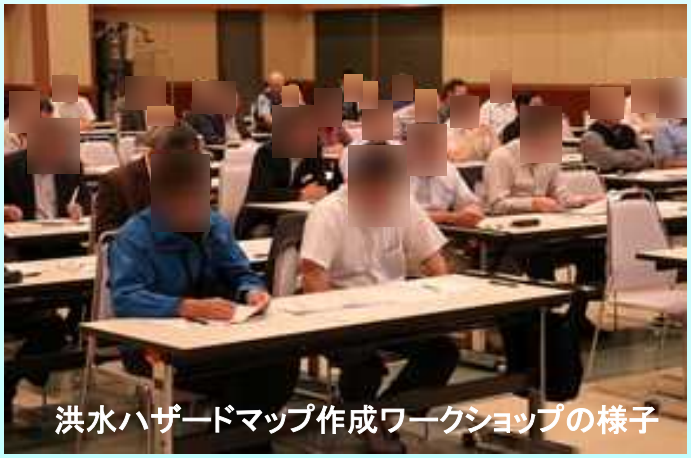
購入した照明車

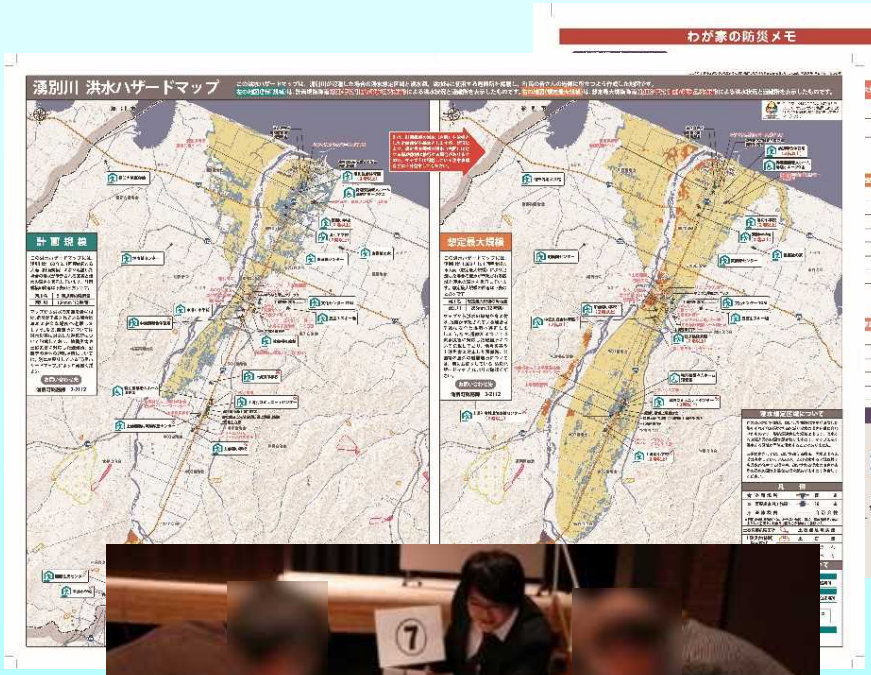
◆使用実績
　H28年8月の台風災害時において、夜間における排水ポンプ車のポンプ設置時の照明として使用

【保有する照明車の能力】
・2KWの照明6基を搭載
・最大12メートルの高さから照らす事が可能

【湧別川】住民を交えた洪水ハザードマップの作成（湧別町）

◆ 湧別川の想定最大規模降雨による浸水想定区域図（最大想定規模）に基づき、地域住民を交えた住民ワークショップを通じて、洪水ハザードマップを作成し、全戸配布。


洪水ハザードマップ作成ワークショップの様子



洪水ハザードマップ作成ワークショップの様子

洪水ハザードマップ作成ワークショップの様子

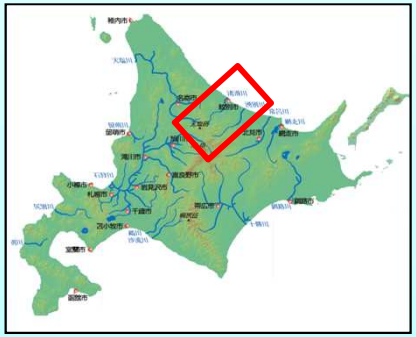
◆湧別川では関係機関が連携し、大規模な氾濫の発生に備え減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。
（参考）網走開建HP：https://www.ab.hkd.mlit.go.jp/kasen/gennsai/index.html

【湧別川】水害リスクの高い箇所の共同巡視を実施（遠軽町、湧別町）

◆ 湧別川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね５年で実施する取組」に基づき、流下能力が低い区間や水衝部の水害リスクの高い箇所、水防資機材の備蓄状況について、水防活動の効率化及び水防体制の強化を目的に自治体と共同巡視を実施。

◆ 関係機関と連携して、今後も継続的に実施。

共同巡視の様子



防災ヘリによる
危険箇所共同巡視
（湧別町）

遠軽町（湧別川）

湧別町（湧別川）

◆湧別川・渚滑川では関係機関が連携し、大規模な氾濫の発生に備え減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。
（参考）網走開建HP：https://www.ab.hkd.mlit.go.jp/kasen/gennsai/index.html

【湧別川】迅速な氾濫水の排水を行うための操作訓練を実施

- ◆ 湧別川ほか減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね５年で実施する取組」に基づき、水害時における迅速な氾濫水の排除を行うため、災害協定業者に対して、排水ポンプ車及び排水ポンプパッケージ等災害対策用機械の操作訓練を実施。
- ◆ 自治体や消防等の防災関係機関の職員も参加し、開発局が所有する災害対策機械の機能や、災害発生時の出動要請手順について理解を深めていただいた。
- ◆ 次年度以降も、幅広に関係機関への声かけを行い、継続的に実施。

災害対策機械操作訓練

排水訓練

排水訓練

災害対策機械（照明車）の機能説明

災害対策機械（照明車）の操作方法説明

災害対策機械（照明車）の操作方法説明

◆湧別川では関係機関が連携し、大規模な氾濫の発生に備え減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進する「水防災意識社会」の再構築に取り組んでいます。
（参考）網走開建HP：http://www.ab.hkd.mlit.go.jp/kasen/gennsai/index.html